

聴覚障害者、お年寄りに便利

ボードに文字書き込む簡易筆談器

駅や空港で設置進む

紙より受け答えスムーズ

県内



耳の不自由な人や高齢者の中には、公共施設などの窓口係員の声が聞き取りにくく対応に不安を感じる人が少なくない。そんなとき窓口にあると便利なのが、ボードに文字を書き込む「簡易筆談器」。県内の駅や空港などの公共施設で設置するところが増えている。

簡易筆談器はA4判ほどの大きさ。ボード上を磁石付きのペンでなぞると、内部の砂鉄が浮き上がって文字が書ける仕組み。文字を消して何度でも繰り返し使用できる。聴覚障害者だけでなく、耳の遠いお年寄りなど手話が苦手な人でも気軽に使えると好評だ。

分かりやすく案内に配慮を

日本航空と全日空は、各空港の案内所、国内・国際線全便で導入している。ANAの案内所では、筆談器の設置が進んでいる。ANAの案内所では、筆談器の設置が進んでいる。ANAの案内所では、筆談器の設置が進んでいる。

新潟空港の全日空案内カウンターでも昨年八月から設置されている。同社は「紙でやりとりするよりスムーズに受け答えできる」と利点を挙げている。

一方、JR東日本は昨年から旅行センター「びゅうプラザ」で導入を進めており、県内では新潟駅、直江津駅、越後湯沢駅など八カ所に設置。旅行の相談では部屋の好みや値段など、細かいやり取りも多い。ぜひ活用を」と同社では呼びかけている。

県中途失聴・難聴者協会では、会報などを通して設置場所を紹介しているが、本格的な普及はこれから。同会副会長の菊地栄治さん（66）は「難聴者は補聴器を使えば普通に聞こえると思われがちですが、周囲の雑音があるとなかなか聞き取れない。ホテルや銀行など、いろいろなか所で置いてもらうと助かります」と訴える。

筆談器は一つ三千円弱と価格も手ごろ。販売を手がけるワールドパイオニア（本社東京）では「筆談器がどこにあるのかわからないという人は多いので、設置案内を出すなどの配慮をしてもらえたら」としている。

聴覚障がいとは「見えない障がい」です。不便なこと、改善してほしいことなどを行政、議会、施設、交通機関などに要望していただければ嬉しいです。「動かないと何も変わらない」のです。詳しくは下記にお問い合わせください。
【情報提供】ベターコミュニケーション研究会、聴覚障がいに関わる総合情報誌「いくお〜る」編集部 URL: <http://www.bcs33.com> E-mail: equal@bcs33.com FAX: 03-3382-6565